

生産現場の問題解決

コース番号：002-026

2026年

開催日時：**10月21日(水)**
9:30~16:30 (6時間)募集締切：**10月7日(水)**

開催場所：ポリテクセンター山梨（裏図参照）

定員：**16名程度（先着順）**

推奨者：初任層～中堅層

受講料

3,300円（税込）

コースの狙い

生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得します。

主な訓練内容

◎ 生産活動の基本

(1) 製造業を取り巻く環境

- ・激変する様々な環境の下、お客様の消費行動が大きく変わる中で、製造業にもAI/IoT・産業用ロボット・RPA等と、これまでのものづくりの革新的融合が求められている現状を正しく認識し、日々業務とのつながりを改めて確認します。

(2) 生産活動の基本

- ・製造業を担う企業の価値＝仕事の価値について再考します。
- ・ものづくり川上～川下・顧客にわたる製造業のしくみを確認し、生産活動の実践に関連する事柄およびキーワードとその活用を習得します。

(3) 生産現場の問題とは

- ・生産現場に潜んでいる、多様な問題の視覚化アプローチと、具体的な定量化手法とその活用のあり方について習得します。
- ・5S活用による維持改善、早期の問題視覚化取組みを習得します。

【個人演習・グループ演習】・仕事の価値/コミュニケーション/定量化手法（品質）

◎ 現状分析とムダの発見

(1) 生産現場に潜むムダ

- ・QC/D+PSMEとムダの関係を確認します。・生産現場に潜む多様なムダについて、知識を習得します。
- ・ムダの分類ごとにその具体的な内容を習得します。

(2) 生産現場の現状分析

- ・品質管理手法活用による生産現場のムダの現状分析アプローチと具体的、実践的な手法としてQCストーリーとFTAの活用について習得します。

(3) 生産現場のムダを視覚化する

- ・生産現場のムダの見つけ方とその内容に対する重要度＝対策・方策実施優先順位のつけ方等、現場情報の整理と改善ステップへのアプローチを習得します。

【個人演習・グループ演習】・自職場のムダ分析/実践的品质管理手法・ブレインストーミング

◎ 生産現場の改善

(1) 改善活動の基本

- ・生産現場のムダ削減＝改善活動のアプローチについて習得します。・ムダ発生真因追及手法＝なぜなぜ分析活用ノウハウを習得します。
- ・対策/方策構築手法について習得します。

(2) 改善活動の取組み勘どころ

- ・実践的な改善活動推進ノウハウを習得します。また、チーム、組織の改善推進マネジメントポイントを習得し、コーチング手法などを活用できるリーダーとしてチーム活動を牽引できる姿を目指します。

(3) 現場の改善活動への取組みと気づき

- ・生産現場における改善活動の実践を通じて自らの仕事の価値と位置付けを再確認し、ビジネスキャリア構築に取組むきっかけ・端緒とします。

【個人演習・グループ演習】・なぜなぜ分析/コーチング演習/タスクマネジメント演習

◎ 訓練内容のココがポイント！

- ・受講対象はものづくり現場中堅層を中心に、マネジメント手法も加味した、よりご活用いただけるカリキュラムとして構成しています。
- ・生産現場に潜むムダ、問題の視覚化手法とそれに対する方策/対策の主體的な構築・運用推進を担う人材実現に重点を置いています。
- ・平易で分かり易い、オリジナル研修テキストを提供し、受講者皆様の理解・習得度を高めて実践的ノウハウとしてご活用いただけます。

実施機関 & 講師

FORBLE 株式会社

代表取締役

平野 辰也氏



講師Profile

半導体製品モノづくりの最前線で、30年以上にわたり企画開発から製造販売まで携わり、様々な問題や課題を解決してきた。その後独立し、現在は多様な企業顧客に対する社員研修、セミナー、コンサルティング事業をメインに展開、自身の豊富なモノづくり経験や知識をベースとした、分かりやすく実践的な指導法は多くから高い評価を得ている。

お申し込みは

※ 当HP内「令和8年度オープンコース第2弾受講者募集のご案内」の下部に、Excel形式で直接必要事項が入力できる「オープンコース受講申込書」があります。